

ヤンデレ的思考傾向と 大学生活の充実の関連

千葉商科大学 政策情報学部 政策情報学科

檜山 凜 江草 遼平 赤木 茅

研究の背景

- 大学生の依存的な恋愛傾向「ヤンデレ」
- 「病んでいる」「デレデレする」
- 恋人に対して病的・攻撃的な態度を表す
- 「推し」
- キャラクター、アイドルを金銭・行動で自己犠牲的までの支援
- そのような若者の恋愛傾向に着目

研究の目的

- ヤンデレ傾向と生活充実度の関連を明らかにする.

ヤンデレ

- 恋人，恋愛対象者への依存傾向
- 先行研究
- 依存によるDV被害，精神的な病理
- 親子関係が依存的であれば，恋人との関係も依存的になる
- 恋愛依存傾向が高いほど，失恋時に未練が残ったり，相手を恨んだりする傾向がある

- 先行研究では依存傾向を対象
- 恋愛依存傾向として「警戒行動」「独占欲求」
- 本稿ではより広い概念
- 恋愛対象への行動規範欲求
- 奉仕犠牲的な自己の行動規範

大学生生活充実度

- 大学生生活充実度尺度(SoULS 12)
- 大学生が大学で大学生として生活を送る中で今感じる大学生活に対する肯定的な感情

研究の方法

- 学生を対象としたアンケート調査を実施
- 統計的にヤンデレ傾向と生活充実度の関連を明らかにする
- ヤンデレ傾向に関連した27問
- 大学生生活充実度尺度(SoULS 12)より12問
- 順位相関係数を求め、独立性の検定、残渣分析を行う

ヤンデレ度に関する質問項目

- 恋愛依存に関する尺度
- 恋愛関係嫉妬尺度
- 上記を参考に項目を整理

- 独自の項目
- 全21問
- 自己の行動規範「一途精神」「奉仕・犠牲精神」「見捨てられ不安」

ヤンデレ度に関する質問項目

警戒行動	Q1	恋人に誰とどこで何をするのかを聞くことがある
	Q2	恋人に仲が良い人たちのことについて詳しく聞くことがある
	Q3	恋人に過去の恋人関係について聞くことがある
精神的支え	Q4	恋人がいることで容姿について自分磨き（筋トレ、ダイエット、美容、ファッションを調べるなど）をすることがある
	Q5	恋人がいることで能力について自分磨き（学業、アルバイトや仕事に役立つスキルの獲得など）をすることがある
	Q6	落ち込んだり嫌なことがあったときは恋人のことを思い浮かべ元気を出すことがある
恋人優先	Q7	自分の時間を優先し、恋人との時間がなくなることがある
	Q8	恋人の言うことでも、自分が嫌なことなら従わない
	Q9	恋人の予定を把握し、会える可能性があれば、自分の予定を入れないようにしておくことがある

独占欲求	Q10	恋人に自分との予定以外の予定があると気分が下がることある
	Q11	恋人に短時間の暇があるときは、自分が暇つぶしになってあげようとテキストや電話でやり取りをすることがある。
	Q12	恋人がいつ、どこで誰と何をするか、細かく尋ねることがある
一途精神	Q13	恋人に、愛情表現をすることがある
	Q14	恋人に嫌われたくないので、デート代を出したりプレゼントを贈ることがある
	Q15	恋人に嫌われたくないので、会いたいと言われれば時間がなくてもなんとか時間を作ることがある
見捨てられ不安	Q16	恋人に嫌われたくないので、会いたいと言われればどんなに疲れていても会いに行くことがある
	Q17	恋人のために料理や洗濯、掃除などの家事を率先して行うことがある
	Q18	恋人のために送り迎えをすることがある
奉仕・犠牲精神	Q19	恋人のために仕事や課題の手伝いをすることがある
	Q20	恋人がいても、他の人を恋愛対象として意識することがある
	Q21	交際しても短期間（3か月）で分かれてしまうことがある

ヤンデレ度に関する質問項目

- 5段階評価で回答を取得
- 「よくある」
- 「たまにある」
- 「どちらでもない」
- 「たまにある」
- 「全くない」

大学充実度に関する質問項目

- 大学生生活充実度尺度(SoULS 12)を引用
- 「交友満足」「学業満足」「不安のなさ」「大学へのコミットメント」の4つの下位尺度
- 全12問

交友満足	Q22	学内の友人関係に満足している
	Q23	大学では周りの人と楽しい時間を共有している
	Q24	大学で良い友人に出会えた
学業満足	Q25	学びたいことが大学で学べている
	Q26	興味のあることが大学で学べている
	Q27	この学科で学ぶ学問は自分に合っていないような気がする
不安のなさ	Q28	これからの大学生活の先が見えず不安である
	Q29	卒業までの大学生活で何をしたら良いのかわからない
	Q30	この先の大学生活に不安がない
大学へのコミットメント	Q31	大学では積極的に取り組めるものがある
	Q32	大学で熱中できるものがある
	Q33	大学ではいろいろなことができそうだ

大学充実度に関する質問項目

- 5段階評価で回答を取得
- 「当てはまる」
- 「少し当てはまる」
- 「どちらでもない」
- 「あまり当てはまらない」
- 「全く当てはまらない」

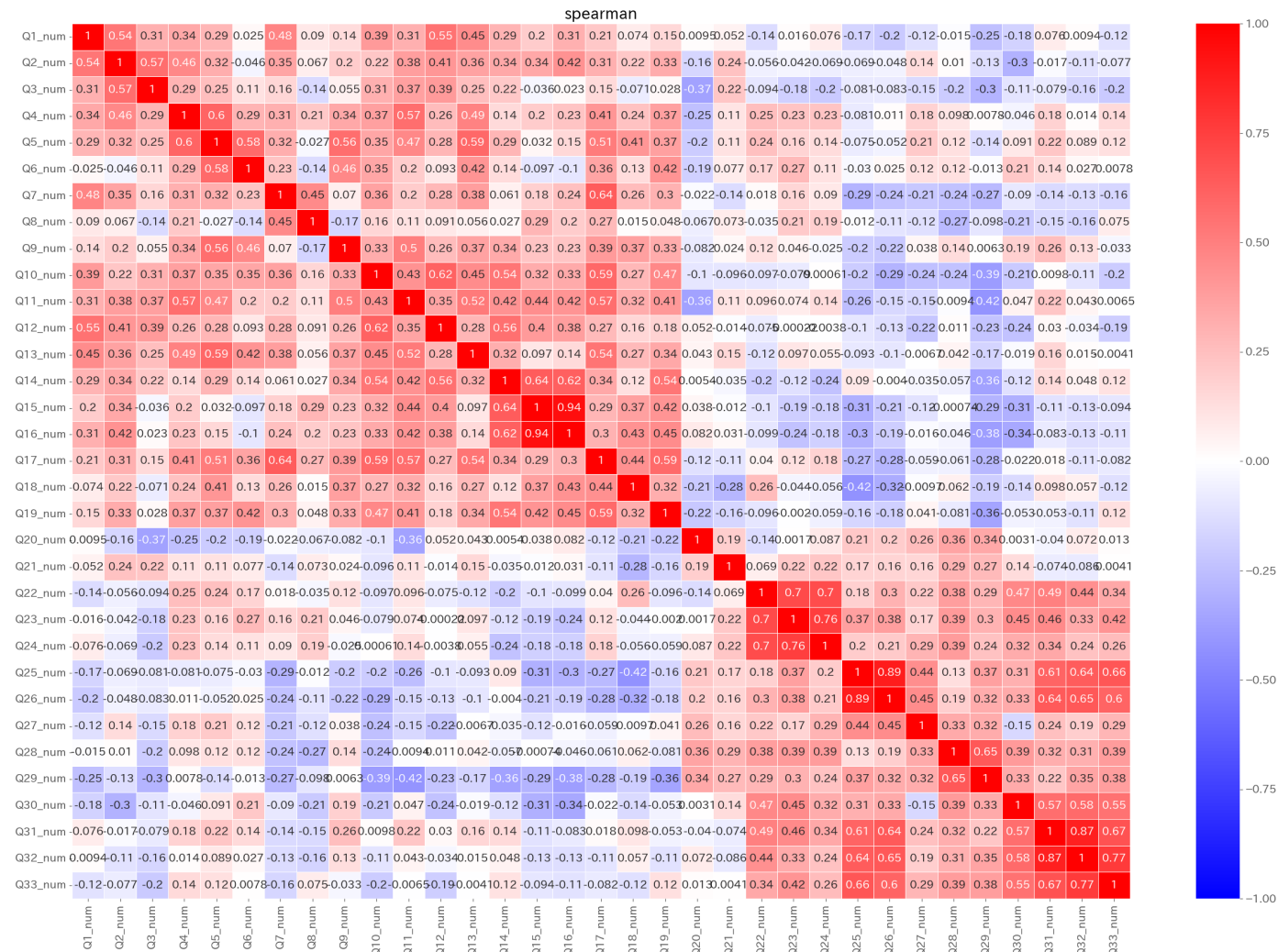
注釈

- 千葉商科大学の学生を対象
 - 千葉県市川市の市立文系大学
 - 2023/12/18~2023/12/21
 - 回答数は64人
 - 恋人が「過去にいたことがある」「いる」60人
-
- 逆転項目 Q7, Q8, Q20, Q21, Q27, Q28, Q29は正順に処理している

手法

- 相関分析
 - χ^2 乗検定
 - 残渣分析
-
- モデルを構築
 - 共分散構造分析

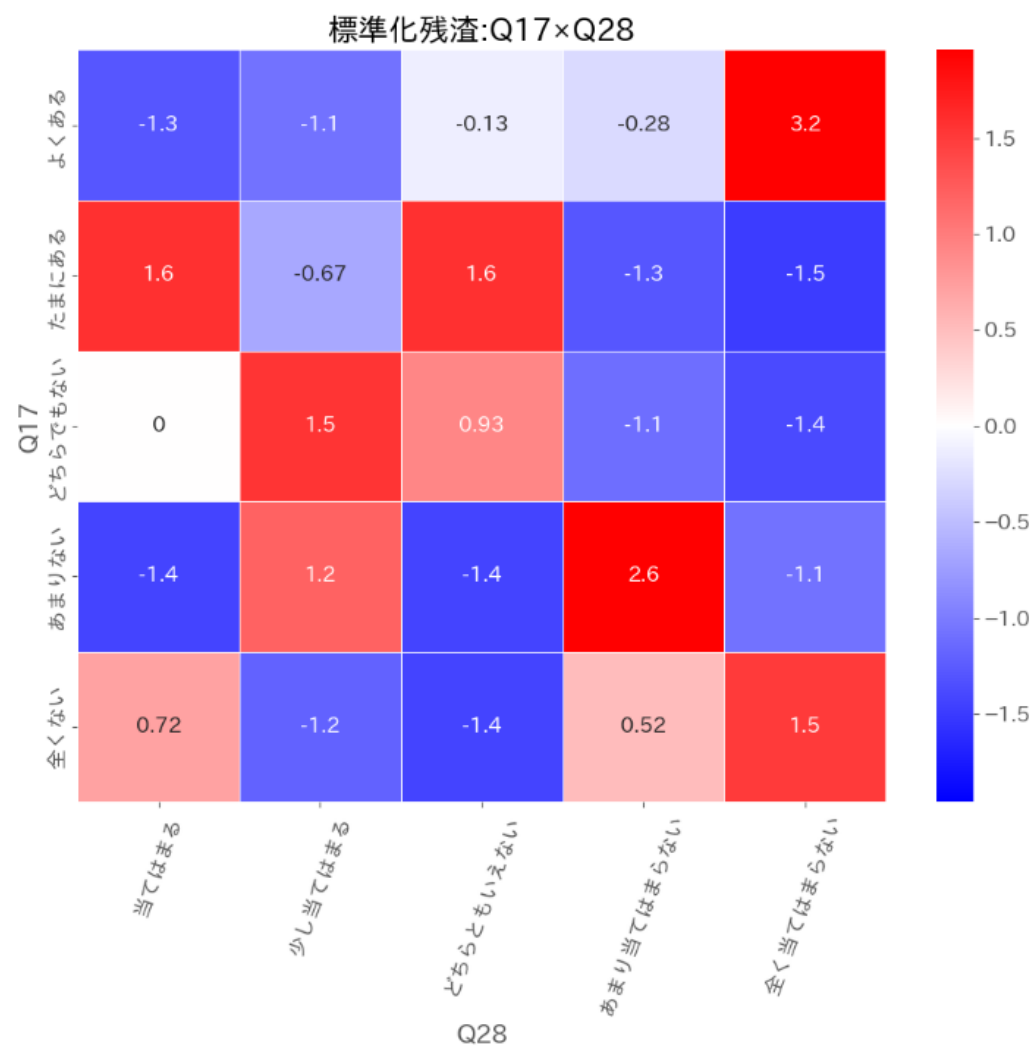
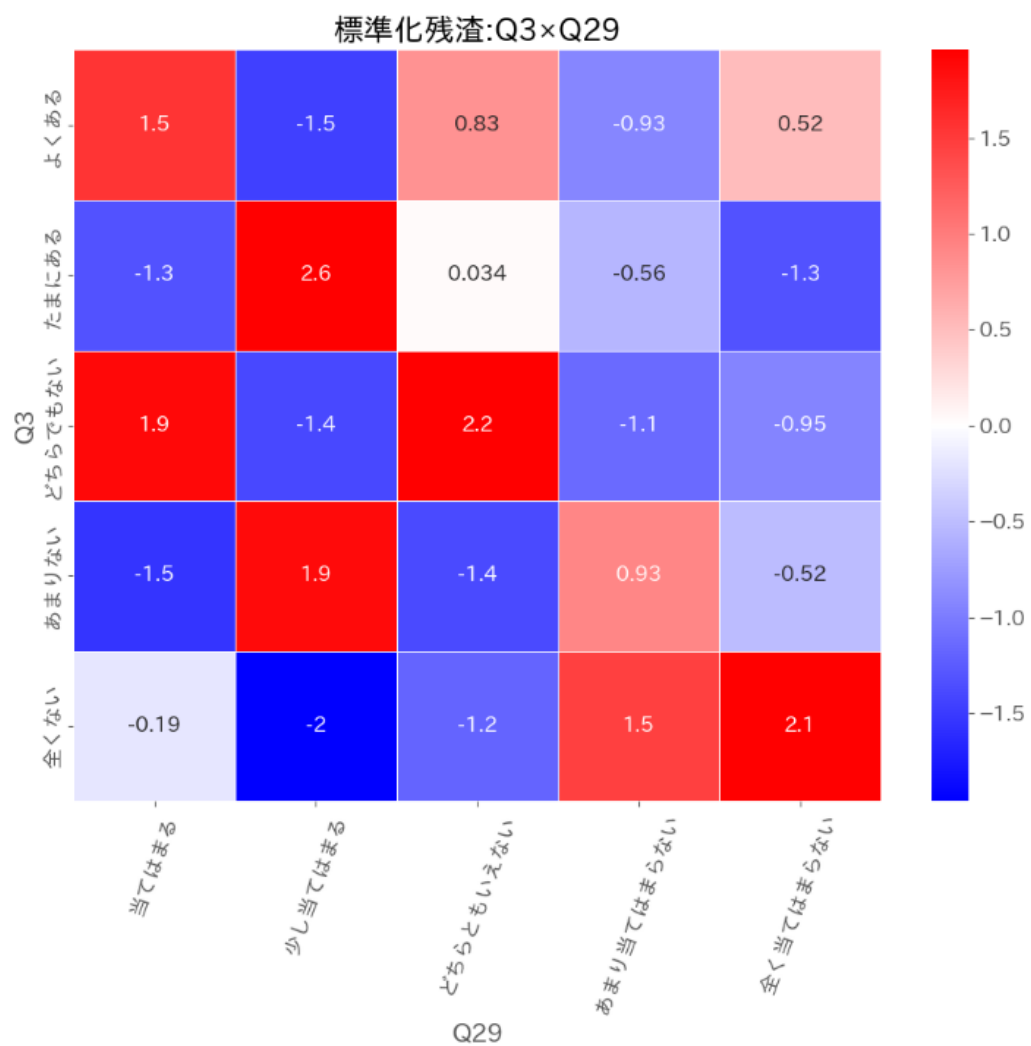
相關分析



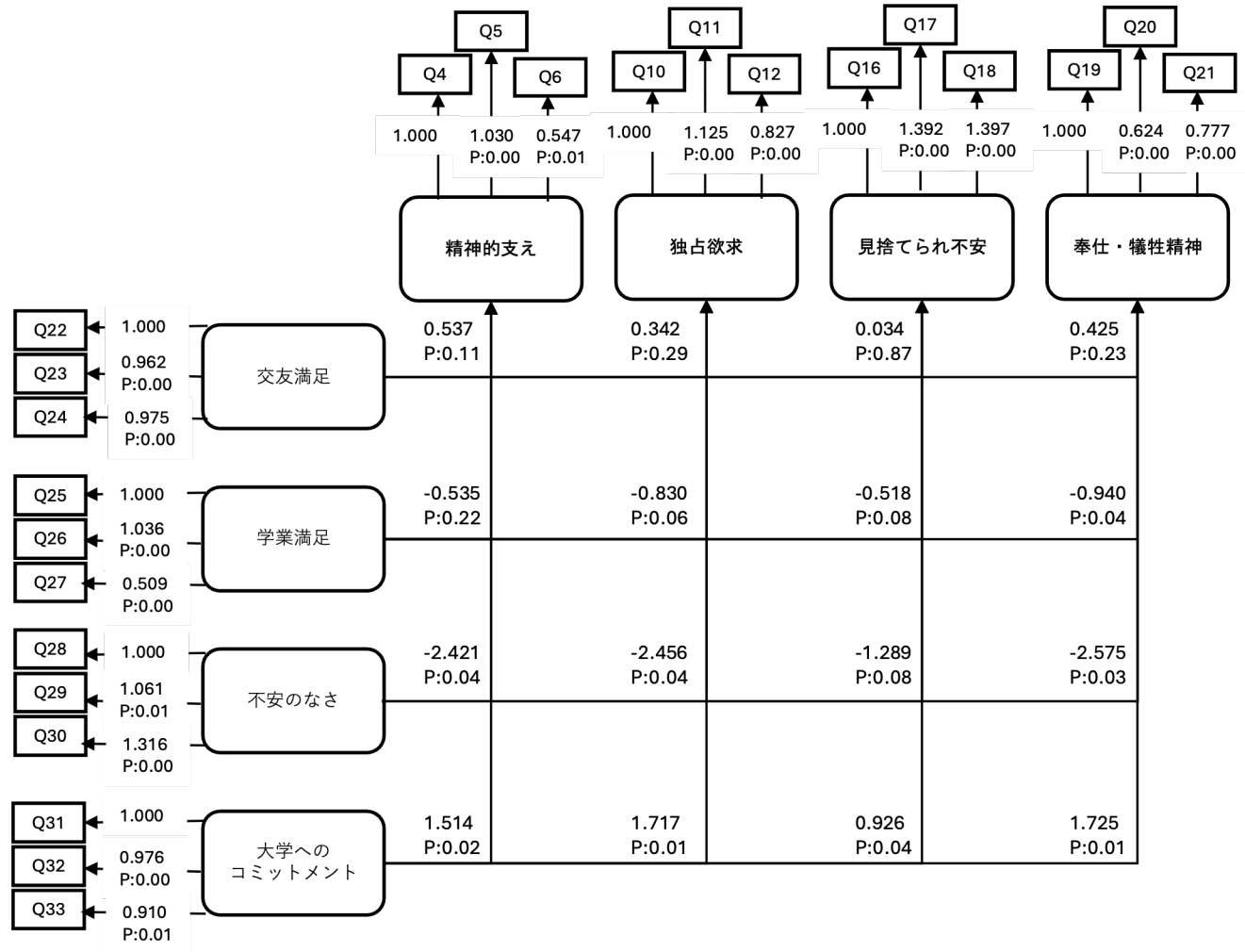
χ^2 二乗検定

Q3 ×	恋人に過去の恋人関係について聞くことがある(警戒行動)	0.01
Q29	卒業までの大学生活で何をしたら良いのかわからない(不安のなさ)	
Q5 ×	恋人がいることで能力について自分磨き（学業、アルバイトや仕事に役立つスキルの獲得など）をすることがある(精神的支え)	0
Q25	学びたいことが大学で学べている(学業満足)	
Q5 ×	恋人がいることで能力について自分磨き（学業、アルバイトや仕事に役立つスキルの獲得など）をすることがある(精神的支え)	0
Q26	興味のあることが大学で学べている(学業満足)	
Q14 ×	恋人がいても、他の人を恋愛対象として意識することがある(奉仕・犠牲精神)	0.004
Q26	興味のあることが大学で学べている(学業満足)	
Q14 ×	恋人がいても、他の人を恋愛対象として意識することがある(奉仕・犠牲精神)	0.022
Q28	これからの大学生活の先が見えず不安である(不安のなさ)	

Q14 ×	恋人がいても、他の人を恋愛対象として意識することがある(奉仕・犠牲精神)	0.0048
Q29	卒業までの大学生活で何をしたら良いのかわからない(不安のなさ)	
Q17 ×	恋人に嫌われたくないので、会いたいと言われればどんなに疲れていても会いに行くことがある(一途精神)	0.009
Q28	これからの大学生活の先が見えず不安である(不安のなさ)	
Q19 ×	恋人のために送り迎えをすることがある(見捨てられ不安)	0.01
Q25	学びたいことが大学で学んでいる(学業満足)	
Q19 ×	恋人のために送り迎えをすることがある(見捨てられ不安)	0.021
Q26	興味のあることが大学で学んでいる(学業満足)	



共分散構造分析



まとめと展望

- 残渣分析
- 大学生活充実度尺度「学業満足」「不安のなさ」
- ヤンデレ度尺度の関連が明らかになった
- 大学生活における不安の高いと
- 恋愛対象に一途に行動
- 恋愛対象の行動に警戒する

まとめと展望

- 残渣分析
- 共分散構造分析においては関連性を見受けられなかった